

記者発表資料

〔生活道路の安全性向上に向けた実証実験の結果について〕
スムーズ横断歩道などの対策により車両速度を抑制

～さいたま市^{おおみや}大宮区^{みはし}三橋二・四丁目地区において実証実験を行いました～

国土交通省大宮国道事務所とさいたま市建設局が協力し、ビッグデータ（ETC2.0データ）を活用した生活道路の交通安全対策に取り組んでおります。

ETC2.0データを活用し、抜け道利用車両が多く、走行速度が30km/hを超える車両の割合が高い、さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区の道路において、仮設スムーズ横断歩道と仮設ハンプを設置し、「流入交通量の抑制」、「走行速度の低減」、「歩行者横断時の車両停止率の変化」を確認しました。

その結果、「流入交通量の抑制」、「走行速度の低減」、「歩行者横断時の車両停止率の変化」のいずれも改善され、特に仮設スムーズ横断歩道の設置箇所では、走行速度抑制効果がみられました。

【実施概要】

- 設置場所
 - ・仮設スムーズ横断歩道 さいたま市大宮区三橋4丁目106番地先
 - ・仮設ハンプ さいたま市大宮区三橋2丁目568番地先
- 設置期間 令和3年9月16日（木）～10月13日（水）

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

お問合せ先

【ビッグデータ（ETC2.0データ）を活用した分析に関すること】

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 電話 048-669-1200（代表）
副所長 木住野 誠（きずみの まこと）
交通対策課長 齊藤 隆裕（さいとう たかひろ）

【仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプの設置等に関すること】

さいたま市 建設局 土木部 道路環境課 電話 048-829-1490
道路環境課長 小峰 喜樹（こみね よしき）

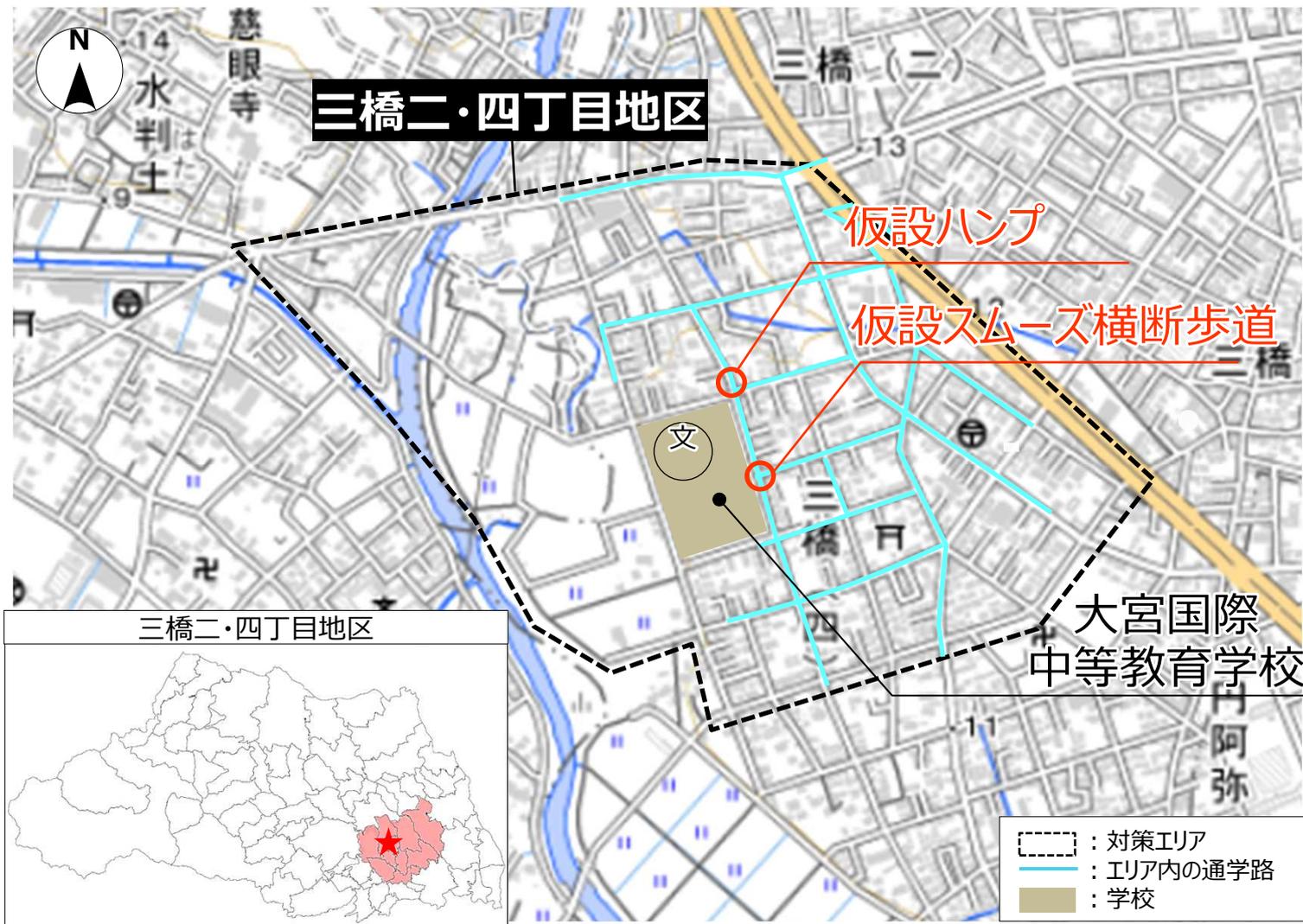
さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区における 仮設スムーズ横断歩道・ハンプによる対策効果

○実証実験の内容

仮設スムーズ横断歩道を1箇所、仮設ハンプを1箇所設置

「流入交通量の抑制」、「走行速度の低減」、「歩行者横断時の車両停止率の変化」を目的とした、実証実験を実施しました。

<設置位置>



出典：国土地理院地図

※この地図は、国土地理院の地理院地図に「対策実施箇所等の情報」を追記して作成

<仮設スムーズ横断歩道設置状況>



<仮設ハンプ設置状況>

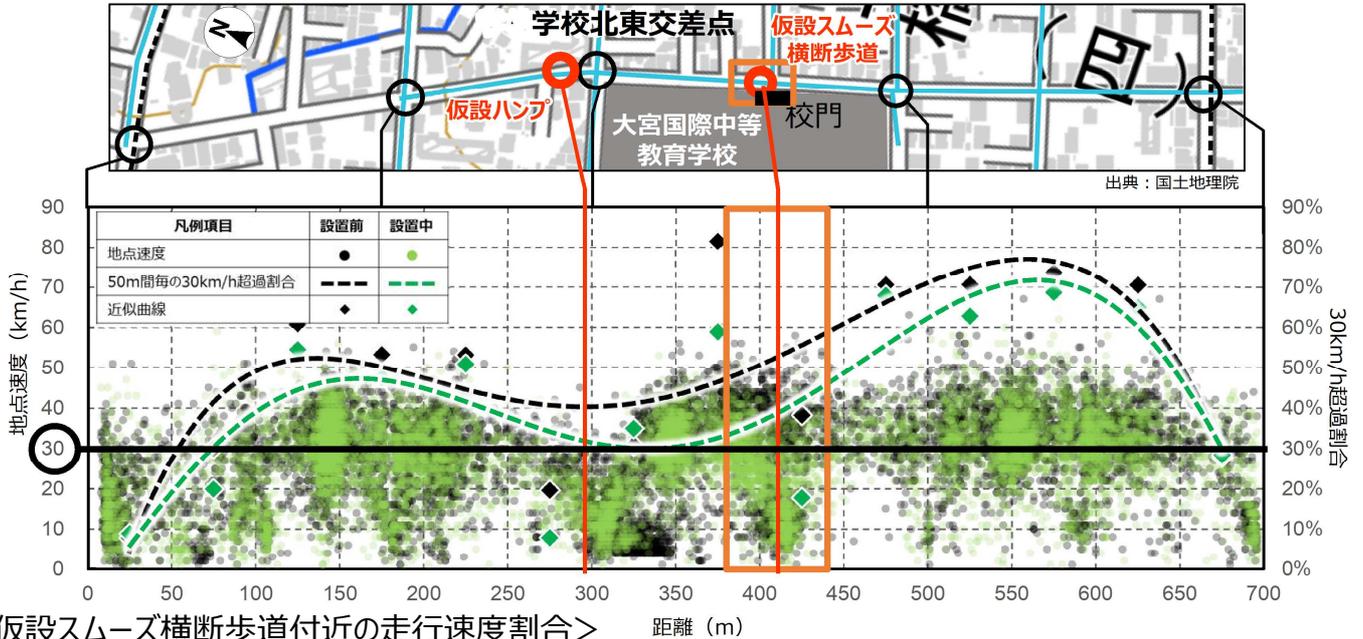


さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区における 仮設スムーズ横断歩道・ハンプによる対策効果

○実証実験の結果報告

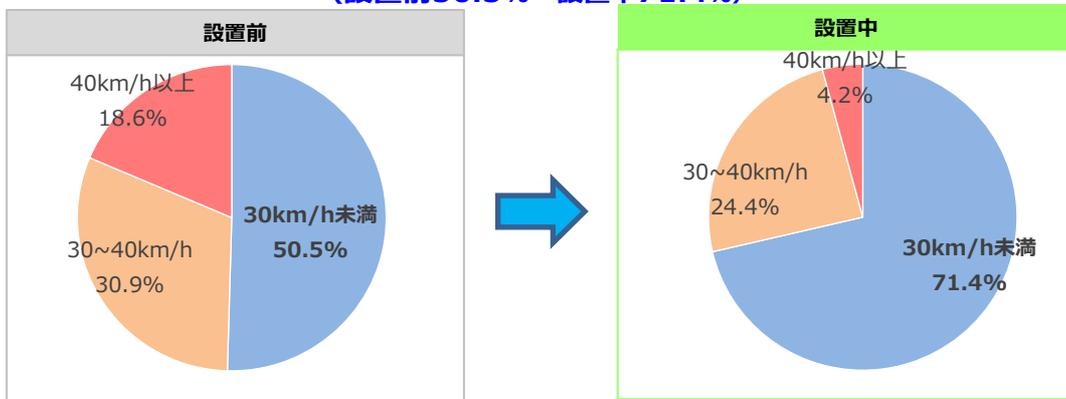
(1) 走行速度の低減 (ETC2.0データ分析)

＜実証実験の対象路線における走行速度＞ 通学路区間における30km/h未満の車両が設置前46.3%⇒設置中52.0%になりました。



＜仮設スムーズ横断歩道付近の走行速度割合＞

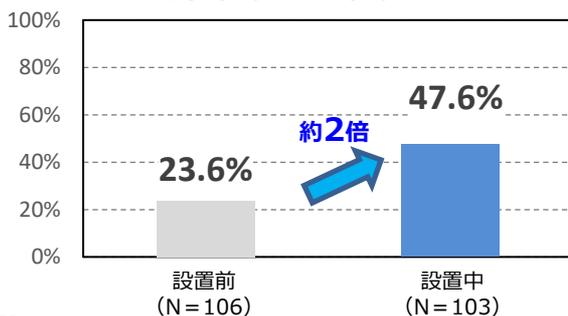
仮設スムーズ横断歩道の設置箇所で、走行車両の約7割が30km/h未満になりました。
(設置前50.5%⇒設置中71.4%)



ETC2.0データ 設置前：2020.07.01～07.31 (7時～21時)、設置中：2021.09.16～10.13 (7時～21時)

(2) 歩行者横断時の車両停止率 (実測調査結果)

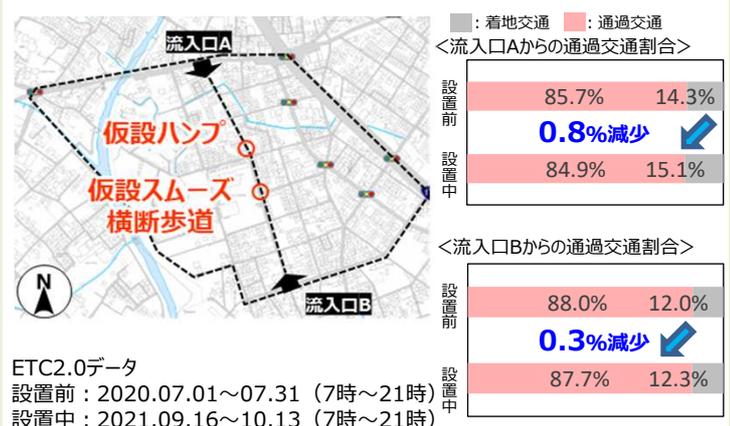
車両の停止率が約2倍に向上しました。
23.6%⇒47.6%



調査日時
設置前：2021.09.07～09 (7時～9時、14時～17時)
設置中：2021.09.28～30 (7時～9時、14時～17時)

(3) 流入交通量の抑制 (通過交通割合)

(ETC2.0データ分析)



さいたま市大宮区三橋二・四丁目地区 における交通安全対策のこれまでの取り組み

今回の実証実験に至るまでに、地域のみなさまと関係機関（警察、国土交通省、さいたま市(教育機関含む)）で地域の課題や対策方針を考える検討会を2回開催しました。今後は、実証実験の報告及び今後の対策方針を考える検討会の開催を予定しています。

ステップ1 地区の課題を知り対策を考える

第1回（2019.11.26）対策検討会

- 対象エリアの課題について意見交換を行うとともに、ETC2.0の交通分析結果を提供し、どのような対策を行うべきかを議論しました。

ステップ2 実証実験の実施説明

第2回（2021.7.20）対策検討会

- 仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプの試行的設置による実証実験について説明するとともにその他の課題について議論しました。

ステップ3 実証実験の実施

2021.9.16~10.13 実証実験の実施（仮設スムーズ横断歩道・仮設ハンプ）

ステップ4 実証実験の効果報告

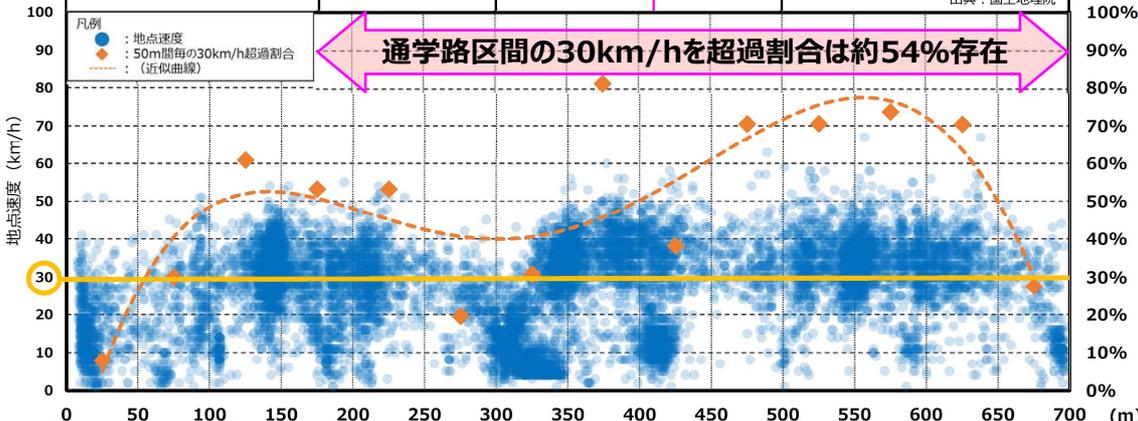
ETC2.0データを活用した交通分析・アンケート調査を実施いたしました。今後は、地域のみなさまと関係機関に対して、実証実験の効果報告を行うとともに、本格的な対策に向けた検討などを行います。



OETC2.0データによる現況分析

- ETC2.0データにより実証実験を実施する道路の現況分析を行ったところ、走行速度が30km/hを超える車両は約54%あり、速度抑制対策が必要であると考えられます。

▼実証実験の対象道路



▼通学路区間の速度割合

